

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

八百津町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

岐阜県加茂郡八百津町

### 3 地域再生計画の区域

岐阜県加茂郡八百津町の全域

### 4 地域再生計画の目標

八百津町の総人口は統計開始の1980年から減少している。1980年から2015年までの35年間の5年ごとの減少率は平均▲4.68%で、その減少率は国勢調査のつど大きくなっている。1980年から1985年にかけての減少率は▲1.53%（1980年：15,451人、1985年：15,215人）だったが、2010年から2015年にかけての減少率は▲8.45%（2010年：12,045人、2015年：11,027人）と、減少率が大きくなっている。住民基本台帳によると、2020年9月時点の人口は10,704人である。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2060年には3,539人となると見込まれている。

1980年からの35年間を年齢層の構成比で見ると、生産年齢人口（15～64歳）は1980年の63.7%（9,846人）から2015年の53.0%（5,839人）へ10.7ポイント低下、年少人口（0～14歳）は同じく20.9%（3,235人）から10.4%（1,146人）へ10.5ポイント低下、高齢人口（65歳以上）は逆に15.3%（2,370人）から36.6%（4,042人）へ21.3ポイント上昇となっている。

このように、八百津町の総人口は年々減少し、生産年齢人口及び年少人口は長期にわたって減少傾向にあり、少子高齢化は今後一層本格化することを前提に考慮していく必要がある。

自然動態をみると、出生数が徐々に減少傾向にあり年間50人程度となっている一方で、死亡数が年間約150～200人程度で推移しているため、自然減の状態であ

る（2018年130人の自然減）。社会動態をみると、転出数が転入数を上回る社会減の状態が続いている（2018年85人の社会減）。

このような状態が続くと、生産年齢人口の減少による雇用量や質の低下・後継者不足、農林業の担い手不足による耕作放棄地の増加、地域コミュニティの共助機能の低下による地域防犯力・防災力の低下や災害弱者・犯罪弱者の増加等の課題が生ずる。

これらの課題に対応するため下記の対策を講ずる。

#### ① 生涯活躍できる環境を整備し、人口減少に歯止めをかける

生産年齢人口の層と幅を増やすためにも、元気な高齢者等が活躍できる環境を整備するとともに、八百津町の持つ魅力に磨きをかけながら、まちの魅力を情報発信し、住みたくなるまちの創造を進め、移住の流れを呼び込む。また、新しい仕事の創造や現状足りていない仕事分野への手当てを手厚くするなど、安心して子育てができる環境と、Uターンがしやすい環境の整備をし、次の世代へ続けていく。

#### ② 若い世代の仕事・雇用、子育て、教育を支援する生活環境の整備

人口減少を克服し、将来にわたり安定した人口を維持していくため、若者が希望どおり結婚し、妊娠、出産、子育てができる社会環境を実現する必要がある。

また、若者や子育て世代にとって魅力のある、住みたくなる、子育てしたくなるまちを実現し、町内から出て行かない、町外から呼び込むまちを実現する。

#### ③ 安全・安心で持続可能なまちづくり

人口減少、少子高齢社会において、活力あるまちであり続けるため、人口減少、少子高齢化を起因とする様々な課題への対応を進めるとともに、人口減少対策に対し八百津町が一丸となって取り組み、住民が将来にわたって安全・安心で、健康的に暮らしやすいまちを実現する。

なお、これらに取り組むに当たって、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標1 八百津に呼び込む
- ・基本目標2 八百津で稼ぐ
- ・基本目標3 人を育む
- ・基本目標4 安心をつくり・まちをつなぐ

**【数値目標】**

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	杉原千畝記念館集客数	27,024人	40,000人	基本目標 1
	社会増減数（純移動数）	-85人	-25人	
イ	新規就農者数（5年間累計）	6人	10人	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	1.32	1.39	基本目標 3
エ	八百津町は、「住みやすい」と 答えた人の割合	59.2%	70.0%	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2 及び 5-3 のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

八百津町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 八百津に呼び込む事業

イ 八百津で稼ぐ事業

ウ 人を育む事業

エ 安心をつくり・まちをつなぐ事業

#### ② 事業の内容

ア 八百津に呼び込む事業

観光施設の PR やスポーツ施設の活用、田舎ならではの体験等により  
移住・定住者及び関係人口の増加を図る事業。

町民の町内での正規雇用従業員としての雇用及び町外から通勤してい  
る正規雇用従業員の八百津町への定住を促進し、人口減少の抑制と地域  
経済活性化を図る事業。

#### 【具体的な事業】

- ・ SNS を利用した PR の推進施策
- ・ 複合スポーツ施設を活用したスポーツ振興とスポーツ交流の拡大施策
- ・ 「ちょうどいい田舎」体験施策
- ・ 雇用促進奨励金交付事業 等

イ 八百津で稼ぐ事業

町内農産物のブランド化や6次産業化、町内空き家・空き店舗の活用  
を積極的に進め、新たな雇用を生み出す事業。

再生可能エネルギー活用事業の展開に向け、産官学や民間企業の技術  
力と連携し、町内の再生可能エネルギー資源を活かしたビジネスモデル

の構築を目指した、地域経済の活性化事業。

**【具体的な事業】**

- ・農産物ブランド化の推進施策
- ・空き店舗魅力いっぱい再生事業
- ・八百津町再生可能エネルギー活用事業 等

**ウ 人を育む事業**

人道教育を推進し思いやりを持った子どもたちの育成に取り組み、また、安心して子育てができるよう、妊娠・出産・育児への切れ目のない支援を行う事業。

**【具体的な事業】**

- ・国際的視野を持ちふるさとを愛する子どもを育む施策
- ・安心して子育てができる保育・教育環境の支援施策
- ・安心して出産を迎えるための支援施策 等

**エ 安心をつくり・まちをつなぐ事業**

「みのかも定住自立圏共生ビジョン」を引き続き推進するとともに、関係する地方公共団体との新たなつながりを創出し、地域間・官民連携強化を図る事業。

利便性が高く、安心して利用できる生活交通の確保や、町民の防災意識の向上、地域防災の担い手の育成、防災・行政情報をデジタル配信する事業。

**【具体的な事業】**

- ・定住自立圏の推進と地域間・官民連携施策
- ・持続可能な地域交通ネットワークの形成
- ・災害に強いまち・ひとづくり施策 等

※ なお、詳細は第2期八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

500,000千円（2020年度～2024年度累計）

**⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度 11 月に、外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに八百津町ホームページ上で公表する。

⑥ **事業実施期間**

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

**5-3 その他の事業**

該当なし

**6 計画期間**

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで